

令和4年度予算案発表



ひと、つながる。
墨田区

新しいつながり、新しい暮らしを創出する予算

持続可能な “すみだ”の未来へ

2022



ひと、つながる。
墨田区

区民の「命」を守ります 新型コロナウイルス感染症対策

主な
SDGs目標



1 目的

新型コロナウイルスの感染拡大防止や医療提供体制の強化など、区民の安全確保に医療機関や関係機関と連携し、全力を挙げて取り組み、新型コロナウイルス感染症から区民の「命」を守り抜く。

2 主な事業内容

(1) 墨田区発熱・コロナ相談センター等の運営

【11,000千円】(継続)

発熱時の行動や後遺症等、新型コロナウイルス感染症についての相談を受け付ける窓口を開設する。

(2) 積極的疫学調査等実施のための体制整備

【19,000千円】(継続)

感染拡大防止のために行う積極的疫学調査等を迅速に実施できる体制の整備をする。

(3) 酸素濃縮装置の借上げ【2,500千円】(継続)

自宅療養中に酸素吸入が必要となった区民に使用する酸素濃縮装置を借上げる。

(4) その他感染症対策に係る事業【27,400千円】(継続)

感染症対応物品や検査キットの購入、患者搬送委託などを行い、感染症対策の支援体制を整える。

予算額(継続)
59,900千円

問合せ
保健予防課長
武田 知子 内線3511



感染症拡大防止

■ 墨田区発熱・コロナ相談センター
(専門相談)人材派遣



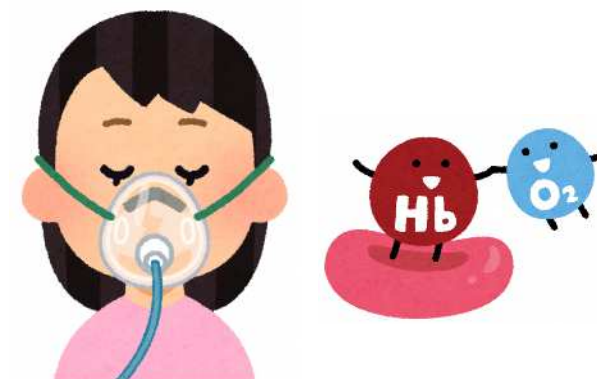
各種問い合わせ対応・PCR検査の紹介等

■ 患者搬送委託



療養施設等への搬送

■ 酸素濃縮装置の借上げ



地域が一体となって 加速！すみだのワクチン接種

主な
SDGs目標



1 目的

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、安全かつ迅速なワクチン接種を推進する。

2 主な事業内容

(1) 集団接種会場等の運営【457,000千円】(新規)

集団接種会場やコールセンター、予約システムなどの運営を行う。

(2) 医療機関への接種実施委託【182,636千円】(新規)

医師会等の区内医療機関に対して、接種委託を行い、区民の接種機会を確保する。

(3) その他接種に係る事業【69,364千円】(新規)

接種券発送や区報の全戸配布などを行い、ワクチン接種の円滑な実施を図る。

新型コロナワクチン接種
広報大使 わく丸



予算額 (新規)
709,000千円

問合せ
保健衛生担当次長
岩瀬 均 内線3600

すみだの「地域力」で ワクチン接種をさらに加速



< 3回目接種開始目安スケジュール(6か月間隔) >

対象	2月	3月	4月	5月～
基礎疾患				
40~64歳				
18~39歳				

新保健施設等複合施設の建設

主な
SDGs目標



1 目的

区民の健康づくりや母子保健、災害医療体制の拠点として、多様化する健康課題に迅速に対応するため、保健所・子育て・教育の機能を複合化した、総合的な保健施設の整備を行う。



2 施設概要

(1) 整備予定地

墨田区横川五丁目7番

(2) 整備スケジュール

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業者選定	基本設計・実施設計		建設工事 27か月 (R4.3～R6.6)		竣工 開設

3 主な事業内容

令和6年度の完成・開設を目指し、建設工事と、円滑な移転に向けた準備を着実に進めていく。

建設工事費等 【317,747千円】(継続)

令和3～6年度の継続事業を含む

令和4～6年度の債務負担行為額 【4,283,000千円】

予算額(継続)
317,747千円

問合せ
新保健施設等
開設準備担当副参事
平山 千富 内線3521

完成イメージ



【敷地面積】: 5,334.73㎡
【建築面積】: 約2,680㎡(本体建物)
【延べ面積】: 約9,640㎡(本体建物)
【階数】: 地上4階
【構造】: 鉄骨造
【用途地域】: 第1種住居地域、準工業地域



整備コンセプト



機能連携イメージ



ポストコロナ時代に対応した「健康づくりの拠点」
“誰も取り残さない”全世代型地域包括ケアを実現

持続可能な“すみだ”の実現のために SDGs未来都市推進事業

主な
SDGs目標



1 目的

令和3年5月に国から「SDGs未来都市」に選定されたことを契機として、区民・事業者・区職員が具体的な「ACTION!」を起こすための、普及啓発と庁内の体制づくりを行い、持続可能な“すみだ”の実現を目指す。

2 主な事業内容

(1) SDGs未来都市普及啓発事業【5,000千円】(新規)

SDGsに関する区や区内の取組を区報やホームページなどの媒体で積極的にPRするほか、区民や事業者の意識向上を促すためのプロモーション(区民参加型イベント)を開催する。

(2) 政策形成プログラム事業【6,000千円】(新規)

職員がSDGsの基礎知識を学び、各職場が抱える行政課題の解決に向けて、公民連携や産学の知見によるサポートを受け、政策提案を行う。本プログラムへの参加を通じて、SDGsの目標を理解した上で、課題意識をもって自ら政策・事業立案ができる職員を育成する。

予算額(新規)

11,000千円

問合せ

SDGs未来都市政策調整担当副参事

大野 勝 内線3721

SDGs未来都市計画調整担当副参事

松本 輝之 内線3830



ひと、つながる。

墨田区



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

持続可能な“すみだ”の実現へ



間伐材を使った
SDGsバッジも制作!

区民・事業者への
SDGsの認知拡大!



SDGs未来都市普及啓発事業

SDGsの目標を踏まえた
職員の政策形成力UP!



政策形成プログラム事業

“自分らしさ”を大切に 人権としての個性や多様性の尊重

主な
SDGs目標



1 目的

区民との協働により、地域から男女共同参画を推進する意識の向上に努め、性的指向・性自認についての理解促進と多様性を尊重し合える“すみだ”を目指す。

そのために、男女共同参画推進の拠点施設である、すみだ女性センターの機能を充実させる。

2 主な事業内容

(1) すみだ女性センターの機能の充実

【5,881千円】(拡充)

- ・女性のためのカウンセリング & DV相談の夜間相談を月2回に増やし、さらなる利便性の向上を図る。
- ・性的指向・性自認に関する交流事業を実施する。
- ・館内のWi-Fi環境を整備し、利便性を向上させる。

(2) 性的指向・性自認に関するハンドブックの作成事業

【544千円】(新規)

区職員・教職員が、性的指向・性自認に関して、正しく理解し行動するためのハンドブックを作成し、区民、区内事業者、関係団体等へも活用を促す。

予算額(新規・拡充)

6,425千円

問合せ

人権同和・

男女共同参画課長

有澤 恵美子 内線5221



今こそ、人と人とのつながりを。

(1) すみだ女性センターの機能の充実

■「女性のためのカウンセリング & DV相談」の夜間相談

これまでの相談時間に加えて、仕事帰りでもカウンセリングが受けられる枠を増やします。



■ 性的指向・性自認に関する交流会

性的少数者の方はもちろんのこと、ご家族や会社など関係者の方をはじめ、人権の観点から関心のある方々を対象とした交流会を実施します。



■ Wi-Fiの整備

すみだ女性センター内の会議室等で、インターネットが使える環境を整備します。



(2) 性的指向・性自認に関するハンドブックの作成



すべての人が多様性を認め合い、人権が尊重され、誰もが働きやすい職場、暮らしやすいまちを実現するためのハンドブックを作成します。

目指します！プロトタイプ実装都市 より良い未来をつくる社会実験！

主な
SDGs目標



1 目的

健康、環境、教育など様々な分野で地域が抱える課題について、解決策を持つ区内外のスタートアップ企業等と連携。その企業が持つ製品やサービスを試作段階(プロトタイプ)から積極的に地域内で導入し活用することで、解決を図っていき、持続可能で幸せな社会を目指す。

2 主な事業内容

プロトタイプ実証実験支援事業【30,000千円】(新規)

(1) 課題の抽出・実証テーマの設定

ヒアリングなどを通じ、区政等の課題を抽出し、実証実験の対象となるテーマを設定する。

(2) 実証テーマと解決策のマッチング

実効性と実現可能性を高めるため、設定した実証テーマとそれに対して解決策を持つスタートアップ企業等とのマッチングを行い、実証実験に向けた準備を行う。

(3) 地域内での実証実験・効果検証

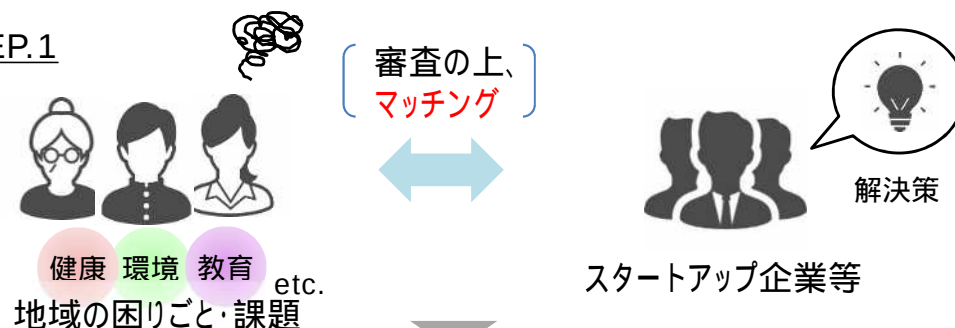
スタートアップ企業等の製品やサービスなどを実験的に導入し、効果検証することで、課題の解決を促す。

予算額(新規)
30,000千円

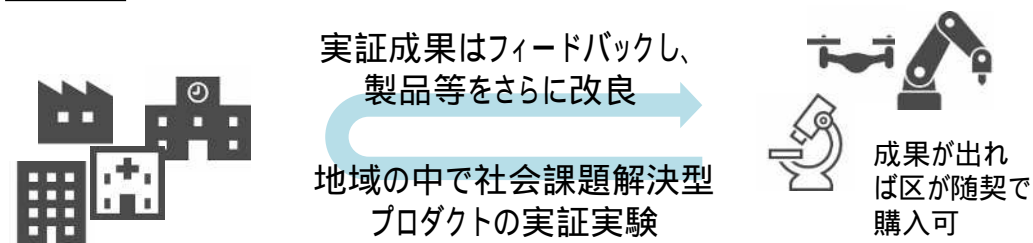
問合せ
産業振興課長
瀬戸 正徳 内線5431

■ 実証実験支援のイメージ

STEP.1



STEP.2



STEP.3

より良い未来へ

・社会課題の解決
・企業の付加価値向上

■ 事業スケジュール(予定)

4～7月	8～9月	10～2月	3月
実証テーマ設定 ヒアリング	公募・審査	実証実験	効果検証

ポストコロナへ準備します！ 区内企業スタート・リスタート 支援事業

予算額(拡充)
986,183千円

問合せ
経営支援課長
塩澤 満 内線5421

1 目的

ポストコロナに対応するため、区内企業を支援するとともに、金融機関と連携した事業継続の支援を行う。また、商工業融資制度の拡充を図ることにより、資金面からの区内企業支援を強化する。

2 主な事業内容

(1) 区内企業ビジネスモデル転換・事業継続支援事業 【30,000千円】(拡充)

区内企業が取り組む業態転換、事業・業種転換等の計画策定を支援するとともに、金融機関と連携した事業承継等の支援を行う。

(2) 商工業融資制度の拡充【956,183千円】(拡充)

・「設備・環境改善資金」の拡充

「すみだゼロカーボンシティ2050宣言」を推進するため、CO2削減に資する設備導入資金の拡充を行い、積極的な設備投資を促す。

- ・ 融資限度額 3,000万円 → 5,000万円
- ・ 返済期間 9年以内(据置12か月含む)
→ 10年以内(据置12か月含む)
- ・ 利子(2.2%)補助 100% → 100%

・「M & A資金」の創設

事業継続手法の一つである、M & Aに必要な資金の融資あっせんを行うことで、後継者不在企業の技術力や取引先との関係、雇用等を区内に存続させ、産業・ものづくりのDNAを継承していく。

- ・ 融資限度額 2,000万円
- ・ 返済期間 7年以内(据置12か月含む)
- ・ 利子(2.0%)・保証料補助 100%

主な
SDGs目標



働く人の「健康」と「働きがい」を支援！

墨田区版健康経営支援事業

主な
SDGs目標



1 目的

「従業員の健康が会社の生産性向上を高める」という考えのもと推進されている「健康経営」について、中小零細企業が多く集積する本区において支援し、地域全体の健康を向上させる仕組みづくりを行う。

2 主な事業内容

(1) 地域・職域連携推進会議(仮称)の設置【384千円】(新規)
地域保健と産業保健の連携を推進するため、幅広い関係者との協議会を設置し、地域全体で取組を推進する。

(2) すみだ健康づくりチャレンジ宣言の推進【275千円】(新規)
健康経営支援の仕組みとして検討を進めている「すみだ健康づくりチャレンジ宣言(仮称)」の実効性を高め、事業主と従業員の健康に関する取組を後押しし、健康経営に取り組む企業を増やす。

(3) 区内企業向け講演会及び研修会の実施
【865千円】(新規)

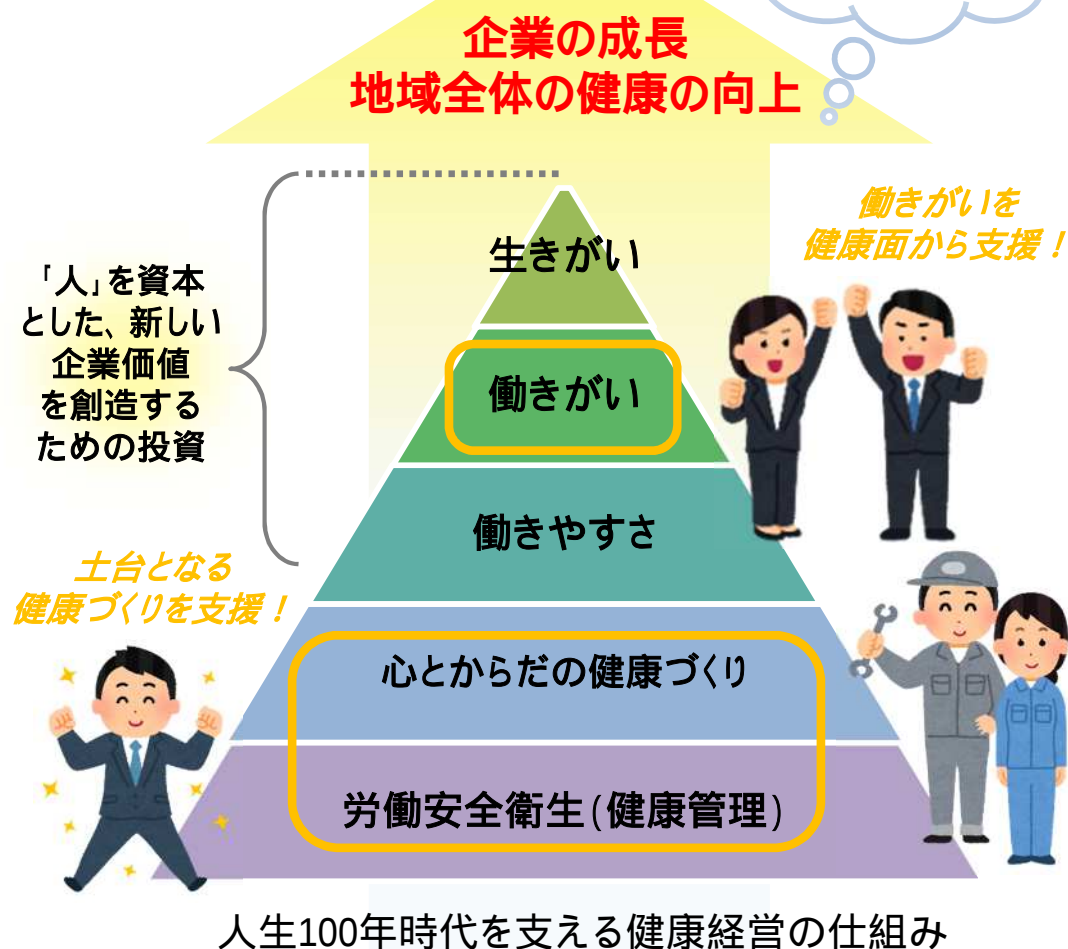
健康経営に取り組むうえで役立つ社会制度や事業の活用方法を伝えるとともに、各企業が抱えている課題等を共有し、従業員の健康の維持向上や課題解決に向けた講演会及び研修会を実施する。

予算額(新規)
1,524千円

問合せ
保健計画課長
杉崎 和洋 内線3501

健康経営の取組を 地域全体で推進！

地域・職域連携推進会議(仮称)、
すみだ健康づくりチャレンジ宣言(仮称)、
企業向け講演会・研修会等の実施



“人生100年時代”を見据えたフレイル予防 高齢者の保健事業と 介護予防の一体的実施

主な
SDGs目標



1 目的

医療専門職を中心に高齢者の特性を踏まえた疾病及び介護予防を一体的に行うことにより、フレイル(加齢に伴う虚弱の状態)を予防し、高齢者が社会とのつながりを保ちつつ、健康寿命の延伸を図る。

2 主な事業内容

(1) 健診等データ分析、企画調整【4,309千円】(拡充)

健診・医療・介護等のデータ分析から、地域の健康課題の整理や対象者の抽出を行うとともに、事業実施の効果等について検証する。また、医師会等地域の医療・福祉関係者等と連携し、効果的な事業展開を図る。

(2) ハイリスクアプローチ事業【15,197千円】(拡充)

健康状態が不明な方に対する相談・指導や、生活習慣病の未治療者・治療中断者へ個別支援をし、重症化予防を行う。また、薬剤師会への委託により、多剤服薬者に対する服薬支援を推進する。

(3) ポピュレーションアプローチ事業【2,234千円】(拡充)

通いの場等において口腔ケア及び低栄養予防の普及啓発・個別相談を行う。また、必要に応じて健診・医療等の受診勧奨を行う。

予算額(拡充)
21,740千円

問合せ
国保年金課長
田村 俊彦 内線3201
保健衛生担当副参事
平山 千富 内線3521
福祉保健部副参事
澤田 敦子 内線3411

健診・医療・介護等データの集約・分析

地域の健康課題の整理・対象者の抽出

ハイリスクアプローチ

健康相談や指導、
服薬支援…
健康課題に
応じた個別支援、
多剤服薬者支援
など

ポピュレーション アプローチ

通いの場等に
おけるフレイル
予防の支援

連携

情報の共有

歯科衛生士や
栄養士等による
具体的な指導

かかりつけ医、
地域の医療・福祉関係者等の連携

ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

1 目的

区民・事業者・区がさらに力を合わせ、環境にやさしい行動を加速化させることで、2050年カーボンニュートラル及びSDGsの目標達成を目指す。

2 主な事業内容

(1) シンポジウム(区民向け)【3,000千円】(新規)

区民が、日常生活の中でできる省エネやSDGsの目標達成に向けた具体的な取組や効果等について関心や理解を深め、環境にやさしい行動への機運醸成を図る。

(2) セミナー(事業者向け)【91千円】(新規)

事業者が、環境に配慮した経営やSDGsの目標達成に向けた具体的な取組や効果・メリットについて学ぶ機会を創出し、環境経営意識の向上や環境負荷低減を図る。

(3) 再生可能エネルギーの導入【110,000千円】(新規)

区庁舎で使用するエネルギーに、再生可能エネルギーを導入し、環境負荷の軽減を図る。

(4) 公用車の集中管理(「燃料電池自動車の導入」を含む。)

【70,466千円】(拡充)

公用車の一部(区長車・議長車)に、燃料電池自動車(FCV)を導入し、普及促進を図る。

主な
SDGs目標



予算額(新規・拡充)

183,557千円

環境保全課(1)(2) 3,091千円

総務課(3)(4) 180,466千円

問合せ

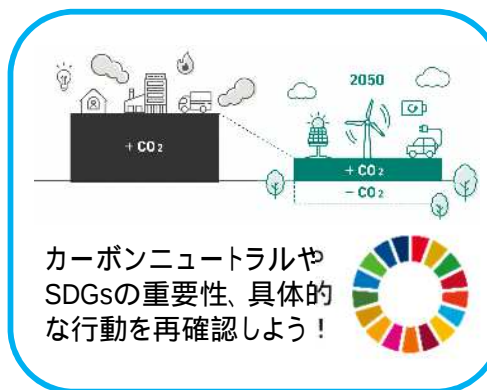
環境保全課長

三浦 博司 内線5461

総務課長

平井 徹 内線3801

■ ゼロカーボンシティの実現に向けたシンポジウム及びセミナー開催



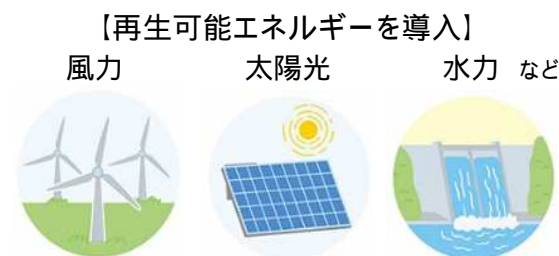
環境にやさしい
持続可能な“すみだ”の実現へ

区民・事業者・区
の協働による

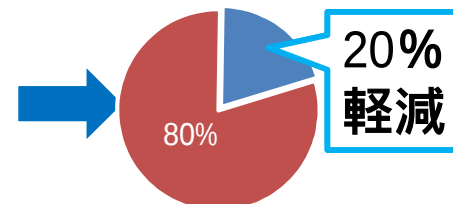
環境にやさしい
意識と行動



■ 墨田区役所本庁舎に供給されている電気のうち、20%分に「再生可能エネルギー」由来の電気を導入する。

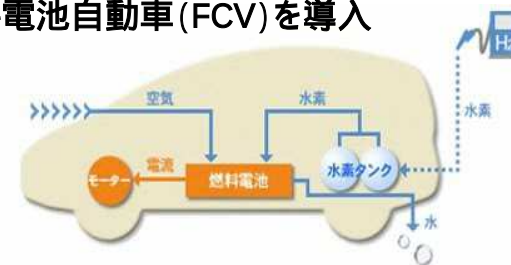


環境負荷を軽減！



■ 公用車(区長車・議長車)への燃料電池自動車(FCV)を導入

・導入スケジュール
令和4年12月(予定)
新規リースによる導入
リース期間は5年(60か月)を予定



0円予算で粗大ごみを減らします！ 粗大ごみリユース事業

主な
SDGs目標



1 目的

増加する「粗大ごみ」を捨てるのではなく、リユースする方法を区民に周知。不用となった大型家具等をリユースしていくことで、ごみ減量と循環型社会の実現を目指す。

2 主な事業内容

粗大ごみのリユース【0千円】(新規)

区は、粗大ごみを捨てたい区民にリユースという選択肢があることをホームページ上で周知し、連携事業者が運営するプラットフォームに誘導する。

まだ価値のある不用品を粗大ごみとして排出するのではなく、事業者買い取ってもらい、リユースすることでごみ量を削減する。

【墨田区の粗大ごみ回収量(収集個数)推移】

令和 2年度	2,552 [t]	(283,593個)
平成 31年度	2,154 [t]	(229,088個)
平成 30年度	2,098 [t]	(218,604個)

予算額(新規)
0千円

問合せ
すみだ清掃事務所長
村田 大輔 電話5608-6922

2 R (発生抑制・再使用)を積極的に推進！

・ 墨田区(各種媒体に情報を掲載)

すみだ区報



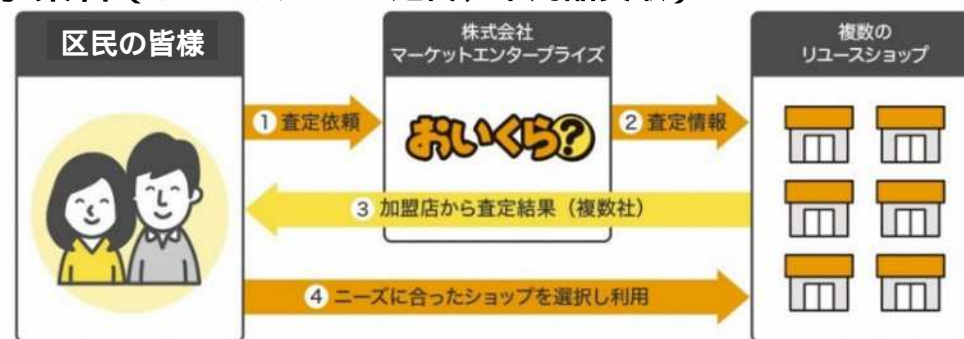
墨田区公式HP



区報やHPに
情報掲載！
区民に周知
するニャ



・ 事業者(リユースサイト運営、不用品買取)



・ 申込みは簡単 3 ステップ

パソコンやスマートフォンで不用品の情報等を入力
複数のリユースショップから査定結果が届く
リユースショップを選んで買取・回収

～ 記憶と体験を次世代に～
「すみだ」に生きる

東京2020大会のレガシーを継承する

主な
SDGs目標



1 目的

東京2020大会を通じて醸成された共生社会への理解を、スポーツや文化の振興等を通じて継承し、本区の活性化へつなげていく。

2 主な事業内容

(1) オリパラ競技の啓発事業等の実施

【2,204千円】(継続)

墨田区で開催されたボクシングのほか、東京2020大会で実施された競技の体験や展示を通して普及啓発等を行う。

(2) 障害者スポーツ普及啓発事業【1,725千円】(継続)

障害者スポーツを通じて、共生社会実現への理解と共感を深め、障害者が日常的に運動できる機会を創出する。

(3) スポーツボランティアの推進【171千円】(新規)

東京2020大会を契機に醸成されたボランティア精神を継承するため「スポーツボランティア」の活動を推進する。

(4) 海外諸都市との交流【2,000千円】(拡充)

東京2020大会でホストタウンとして交流のあったボリビア多民族国のほか、これまでも墨田区と交流が深く、次の夏季五輪の開催都市でもあるパリ市7区との国際交流を推進する。

予算額 (新規・拡充・継続)
6,100千円

スポーツ振興課(1)(2)(3)4,100千円
文化芸術振興課(4)2,000千円

問合せ

オリンピック・パラリンピック室長
/スポーツ振興課長
岐部 靖文 内線5460 / 5490
文化芸術振興課長
岩本 健一郎 内線5451

「すみだ」をボクシングの聖地に



競技体験(ボクシングや障害者スポーツ)



ボランティア活動の推進



国際交流



誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化へ 高齢者デジタルデバйд解消事業

主な
SDGs目標



1 目的

スマートフォンを活用したオンラインコミュニティを創設し、高齢者のデジタルデバйд解消を図る。取組を継続的に発展・拡大させ、地域コミュニティの維持・活性化や情報収集等に活用する。

2 主な事業内容

(1) 高齢者ICT講習会【2,826千円】(拡充)

iU 情報経営イノベーション専門職大学(以下「大学」)・通信事業者と連携し、各老人クラブの代表者を対象にスマートフォン講習会を行う。老人クラブ全6地区ごとにオンラインコミュニティの創設を促す。その他区民向けスマートフォン講習会も併せて行う。

(2) (仮称) デジタル茶房の設置【0千円】(新規)

大学等と連携し、講習会受講者がスマートフォンについての困りごと・不明点があった場合に、気軽に相談できる場として、(仮称) デジタル茶房を設置する。

予算額(新規・拡充)

2,826千円

問合せ

高齢者福祉課長

若菜 進 内線3410

対象者



老人クラブ会員



区内在住高齢者

ICT講習会

写真: 令和3年モデルケース講習会の様子



サポート

大学(iU)



デジタル活用推進員



講習の内容をフォローアップ

(仮称) デジタル茶房

写真を保存したいな

お困りごとをお聞きます

気軽に相談

大学(iU)と
連携・協力して
実施

本事業を通じて推進

デジタルデバйдの
解消

地域コミュニティの
維持・活性化

世代間交流

令和4年度は教育DX元年！！

教育DXの推進で学校の業務改善と 教員の働き方改革を推進！

主な
SDGs目標



1 目的

教員がこれまで以上に、子ども達に寄り添うために、ICTを活用して、教員の業務プロセスを改革・改善し、抜本的な働き方改革を推進する。

2 主な事業内容

(1) 自動応答欠席連絡システムの導入【7,623千円】(新規)

区立小・中学校において、欠席連絡自動電話応答サービスとアプリによる連絡システムを導入し、教職員の朝の連絡対応業務や配布物の印刷業務を削減する。

スマートフォンやパソコンを持っていない保護者も利用できる欠席連絡システムの導入は都内初！

令和3年度試験導入・令和4年度本格導入

(2) 自動採点システムの導入【6,347千円】(新規)

区立中学校において自動採点システム(自動採点アプリ、答案読み取り・出力用複合機)を導入し、手作業で行っていた採点をAI活用により高速化を図る。

(3) WEB健康観察システムの導入【0千円】(新規)

これまでは声の調子等、教師が見取っていた子ども達の健康観察をシステム化。

子どもの心の変化を可視化し、相談アプリとも連携することで、いじめ等の早期発見・早期対応につなげる。

予算額(新規)

13,970千円

庶務課(1)(2)13,970千円

指導室(3)0千円

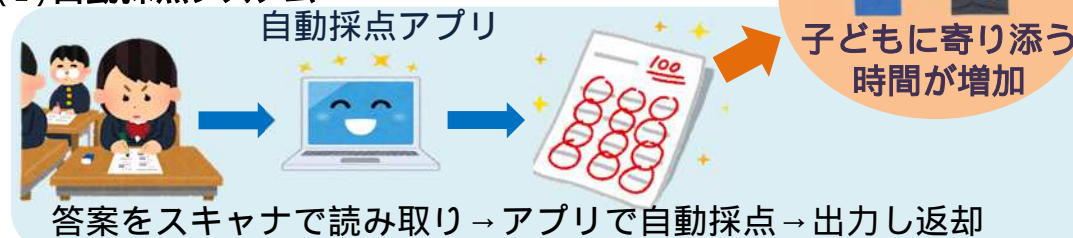
問合せ
庶務課長事務取扱
教育委員会事務局参事
宮本 知幸 内線5102
教育委員会事務局
指導室長
加藤 康弘 内線5140

(1) 自動応答欠席連絡システム

これまでは朝に欠席などの電話が集中。つながりにくい場合も...



(2) 自動採点システム



(3) WEB健康観察システムの導入



職員の意識改革と業務の効率化

主な
SDGs目標



1 目的

新たな価値を創出するDX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進し、利便性の高い区民サービスの提供と、効率的な区政運営の実現を図る。

2 主な事業内容

(1)自治体DX推進のための環境整備【3,668千円】(新規)

- ・デジタル化に関するノウハウの共有(DX人材育成)
- ・ICTを活用した業務改善への取組意欲の向上を目指し、職員研修を実施
- ・オンライン会議に対応した職場環境の整備

(2)AI - OCRの導入による課税事務の内製化及び効率化【17,148千円】(新規)

- ・AI - OCRシステムの導入
- ・給与支払報告書のデータ(年間10万件)の作成

(3)区税滞納整理事務における預貯金照会電子化システムの導入【1,474千円】(新規)

- ・預貯金照会電子化システムの導入
- ・書面手続の電子化

予算額(新規)

22,290千円

ICT推進担当(1)3,668千円

税務課(2)(3)18,622千円

問合せ

ICT推進担当課長

野澤 典子 内線3651

税務課長

菅原 幸弘 内線3251

自治体DX推進のための環境整備

ソフト面

職員研修による
ICTリテラシーの向上等



ハード面

デジタル化に則した職場環境
の整備 (Web会議室整備等)

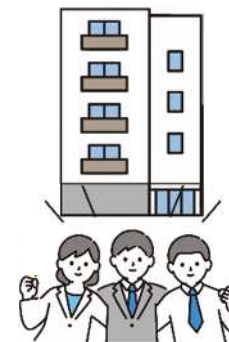


意識
改革



DX人材育成

行動



DXの推進



役割ごとのマインドチェンジ

預貯金照会電子化システムの導入(区税滞納整理事務)



1～3か月の調査期間を最短1～3日に短縮！

こんなサービスあったら便利！？

DX推進で区民サービス向上！

主な
SDGs目標



1 目的

区役所サービスのDX推進で、スマートフォンやPCからの電子申請、クレジットカード等のキャッシュレス決済などを導入し、区民サービスの向上を実現する。

2 主な事業内容

(1) 高額療養費の申請簡素化及びRPAツールの導入 【4,950千円】(新規)

国民健康保険制度の高額療養費の申請について、手続きを簡素化する。さらにRPAツールの導入により、単純・反復的な事務の効率化を図る。

(2) 自転車駐車場利用申請オンライン化事業 【25,500千円】(拡充)

年間を通して、利用申請受付、抽選、承認、納付案内、利用承認証等の発行までの業務を一括して委託する。そして、従来の紙申請の受付業務に加えて、スマホ申請やキャッシュレス決済を導入する。

(3) 学校施設利用券の導入【2,000千円】(新規)

区と株式会社セブン-イレブンジャパン間における「地域活性化に向けた包括連携協定」を活用し、同社が運営するコンビニエンスストアのマルチコピー機を使って、学校施設利用券を購入することにより、使用料の支払いを可能にする。

予算額 (新規・拡充)

32,450千円

国保年金課(1)4,950千円
土木管理課(2)25,500千円
庶務課(3)2,000千円

問合せ
国保年金課長
田村 俊彦 内線3201
土木管理課長
吉田 優司 内線5001
庶務課長事務取扱
教育委員会事務局参事
宮本 知幸 内線5102

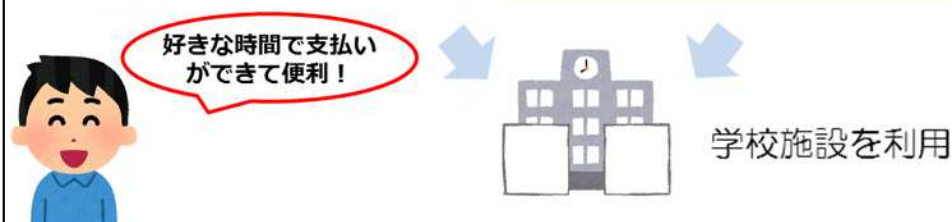
高額療養費の申請簡素化で…



自転車駐車場のスマホ申請、キャッシュレス決済導入



学校施設利用券の導入



待ち時間の短縮と効率化！ DX推進による 窓口手続の利便性の向上

主な
SDGs目標



1 目的

人口増やマイナンバーカード交付件数の増加、新型コロナウイルス感染症の影響等により、窓口受付業務が増加・集中しており、窓口が混雑しやすい状況にある。

そこで、システム導入によって、窓口の混雑緩和、待ち時間の短縮及び区民の利便性の向上を図る。

2 主な事業内容

(1) 窓口受付呼出通知システムの導入

【1,645千円】(新規)

庁舎1階窓口の混雑時に番号札を引いて待っている来庁者にメールを送信し、受付番号が近づいてきたことを知らせるシステムを導入する。

(2) マイナンバーカード交付予約システムの導入

【6,732千円】(新規)

～ マイナンバーカード受取りまでの流れ～

申請者は、専用予約サイトで受取場所と受取日を選んで予約する。

来庁忘れを防ぐため、予約日前に申請者にリマインドメールを送付する。

申請者は、予約日に来庁し、マイナンバーカードを受け取る。

来庁しなかった場合、再予約の勧奨メールを送り、交付率の向上を図る。

【1日当たりの予約枠(想定)】

区役所400人 出張所100人(20人×区内5か所)

予算額(新規)
8,377千円

問合せ
窓口課長
福谷 光広 内線3101

(1) 窓口受付呼出通知システムの導入

順番が近づくとメールでお知らせ！
待合所で待機することなく自由に過ごせる。

番号札のQRコードから
アクセスして登録



順番が近づくと
メールでお知らせ！



混雑時における待ち時間の
有効活用につながる。

さらに、
混雑状態の
緩和にも
効果的！



(2) マイナンバーカード交付予約システムの導入

現行(任意の来庁)



受取りが集中すると
混雑が発生



待ち時間
が長くなる。

交付予約システムの導入によるDX推進



都合のよい
受取日を事前予約



予約前日には
リマインドメール



待合所の混雑
解消!!

申請者の利便性が
向上して好循環が
生まれていく!

効率的に
事務手続



DX推進によって実現を目指す

申請者の負担軽減・
利便性向上

窓口の混雑緩和
(交付窓口の平準化)

業務効率化

待機児童“0(ゼロ)”を目指して 学童クラブ待機児童対策

主な
SDGs目標



1 目的

子ども・子育て支援総合計画に基づく区立学童クラブの整備を加速化することにより、年ごとに高まるニーズに対応し、さらなる待機児童対策を推進する。

児童の放課後の居場所を確保することで、すこやかな生活の場の形成と、安心して子育てができる環境をつくる。

2 主な事業内容

学童クラブの新設【169,834千円】(拡充)

待機児童が多く発生している地域を重点的に、小学校内の余裕教室や集会所等の区内施設及び民間賃貸物件を活用した学童クラブの増設と、既存クラブの定員拡充を図る。

年度途中の開設を含め、令和4年度中に12か所を整備し、定員を420人程度拡大する予定。

このことにより、令和5年4月に計64か所、2,660人程度の育成枠を確保する。

また、児童館におけるランドセル預かり事業や放課後子ども教室と連携した事業の充実による放課後の居場所の確保を進める。

予算額(拡充)
169,834千円

問合せ
子育て政策課長
大八木 努 内線3401

令和3年4月に新規開設した 横川三丁目学童クラブ



育成中の様子
(外手児童館学童クラブ分室)

【スケジュール(予定)】

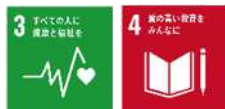
- ・ ~ 令和4年9月・・・新規開設4か所
- ・ 令和5年4月・・・新規開設8か所

うち学校内学童クラブ4か所、集会所等
区有施設3か所、民間賃貸物件等5か所を予定



医療的ケア児の健やかな成長のために 医療的ケア児支援事業

主な
SDGs目標



1 目的

「医療的ケア児支援法」の施行を背景に、医療的ケア児が就学前後の生活の中で個々の心身の状況に応じた適切な医療的ケア等を受けながら、健やかに成長できるように支援する。

2 主な事業内容

(1) 区立学校における医療的ケア児に対する支援事業 【15,969千円】(新規)

医療的ケア児が在籍する区立学校に看護師を派遣し、医療的ケアを行う等により、対象児の安全と自立及び保護者の負担軽減を図る。

(2) 医療的ケア児に対する居宅訪問型保育事業 【14,070千円】(新規)

保育の必要性がある医療的ケア児に対して、子ども・子育て支援新制度における地域型保育事業(居宅訪問型保育)として保育を実施する。

(3) 学童クラブにおける医療的ケア児の受入 【1,440千円】(新規)

医療的ケア児が学童クラブを利用する際、看護師を派遣し、胃ろう・導尿等医療的ケアを受けられるようにする。

予算額(新規)

31,479千円

学務課(1)15,969千円
子ども施設課(2)14,070千円
子育て政策課(3)1,440千円

問合せ
学務課長
西村 克己 内線5121
子ども施設課長
高橋 淳一 内線3451
子育て政策課長
大八木 努 内線3401

医療的ケア児とは

日常生活及び社会生活を営むために恒常的に医療的ケア(人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為)を受けることが不可欠である児童をいう。

■ 区立学校における医療的ケア児に対する支援事業

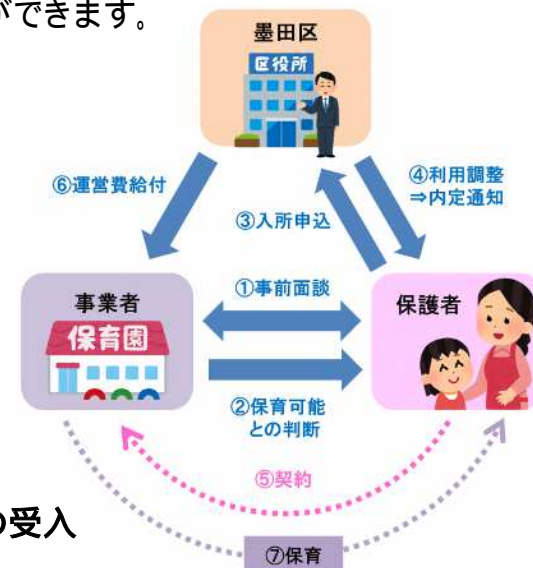


看護師を派遣

学校に看護師を派遣し、医療的ケアを行う等によって、保護者の付添いが無い時でも、変わらずに学校生活を送ることができます。

■ 医療的ケア児に対する 居宅訪問型保育事業(右図イメージ)

医療的ケア児の保育経験が豊富な事業者を選定。
利用者の自宅に保育者が訪問し、1対1で保育を実施する。



■ 学童クラブにおける医療的ケア児の受入

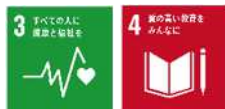
胃ろう・導尿等の
医療的ケアを実施



区が当該児童の日頃利用する
病院や訪問看護ステーションと契約締結。
児童の学童クラブ利用日に看護師を派遣する。

安心して産み育てられる環境を整備！ ママも安心！産後ケア事業

主な
SDGs目標



1 目的

現在実施している宿泊型・訪問型・外来型産後ケアに加え、7月からモデル事業として、日帰り型産後ケアを導入し、産後も安心して子育てができる支援体制をさらに充実させる。

2 主な事業内容

産後ケア事業【20,743千円】(拡充)

(1) 宿泊型(継続)

病院等の施設に宿泊し、保健指導、育児相談、乳房ケアなどを行う。

(2) 訪問型(継続)

助産師が利用者の自宅を訪問して、乳房ケアや育児相談などを行う。

(3) 外来型(継続)

施設等の外来で、訪問型と同じケアを行う。

(4) 日帰り型(新規)

病院、助産所において、個別または少人数で日帰りで昼食を挟んで乳房ケアや育児相談などを行う。

予算額(拡充)
20,743千円

問合せ
本所保健センター所長
瀧澤 俊享 電話3622-9137

日帰り型産後ケア

日帰り型は、外来型に比べて利用時間が5時間程長く、昼食を挟んで産後ケアが受けられます。助産所では、少人数の集団でサービスを行います。



産後ケア利用料・利用回数

	宿泊型	訪問型	外来型
利用料	6,000円/日	1,000円/回	1,000円/回
利用上限	3泊4日まで	4回まで	3回まで

新規

日帰り型
4,000円/回
2回まで

生活保護・区民税非課税世帯は利用料免除

シングルママ・パパの生活をサポート！ ひとり親家庭就業・養育費等 支援事業の拡充

主な
SDGs目標



1 目的

経済的に困窮するひとり親家庭を対象に実施している就業・養育費等支援事業に、公正証書等作成促進補助金を新たに追加し、ひとり親家庭の経済的困窮を更に解消していく。

2 主な事業内容

(1) ひとり親家庭就業・自立支援事業【885千円】(継続)

何らかの理由で就職や転職をご希望の方に対し、相談員が支援プログラムを作成のうえ、就業に向けたアドバイスや面接同行など、必要な支援を行う。

(2) 養育費等支援事業【1,296千円】(拡充)

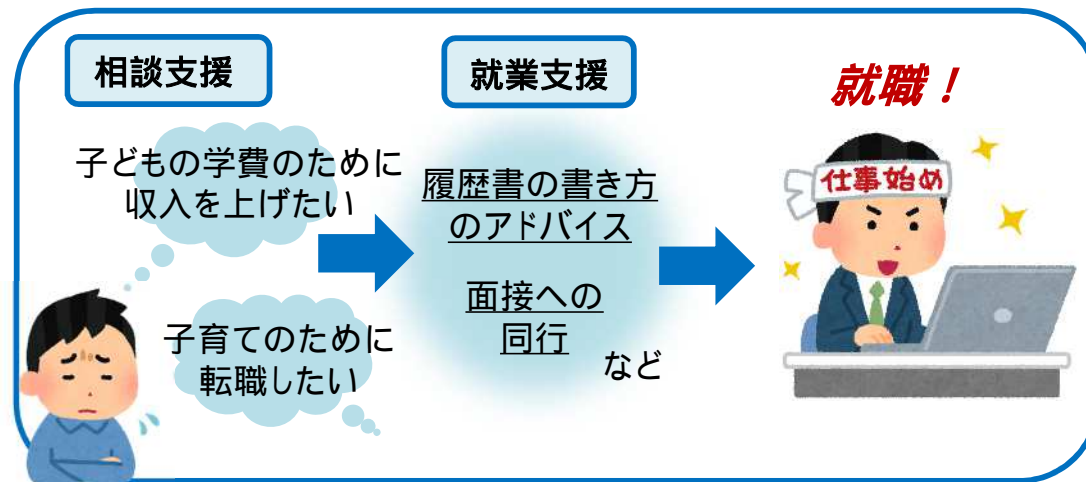
離婚を検討している方や離婚後の養育費にお困りの方に対して、相談員が養育費取り決めのために必要な支援を行う。

さらに、拡充事業として、公正証書作成等に要する経費の一部を補助することで養育費の確保を支援する。

予算額(拡充・継続)
2,181千円

問合せ
生活福祉課長
佐久間 豊 内線3311

(1) 就業・自立支援事業(継続)



(2) 養育費等支援事業(拡充)



夢や希望の実現へ向けて 児童・生徒の 確かな学力を育みます！

主な
SDGs目標



1 目的

児童・生徒が確かな学力を身に付けて、将来への選択肢を広げ、夢や希望を実現させることができるよう、学校の組織的な取組を基盤としながら様々な施策を展開する。

2 主な事業内容

(1) すみだスクールサポートティーチャー事業 【27,815千円】(継続)

区立小・中学校にスクールサポートティーチャーを派遣し、児童・生徒の学習を支援する。

(2) 学習内容の定着を図る取組【29,210千円】(継続)

「学習ふりかえり期間」の設定や家庭学習で活用できるデジタル教材の配備などを通して、児童・生徒の学力向上につなげていく。

(3) すみだチャレンジ教室の実施【6,988千円】(継続)

学習の定着に課題がある児童・生徒を対象として、放課後を活用した学習支援事業を行う。

予算額(継続)
64,013千円

問合せ
すみだ教育研究所長
宮本 佳代子 内線5231

学校の組織的な取組を推進して、夢と希望に向けて前進へ！

すみだスクールサポートティーチャー

区立小・中学校で教員の指導のもと、学習支援のお手伝い！



デジタル教材の活用

紙とタブレット教材の両方を効果的に活用し、発展問題に取り組む。

デジタル教材に
何度も
挑戦！

一人1台の
タブレット



すみだチャレンジ教室

放課後に補習教室を開催し、基本的な知識技能の定着や学習意欲の向上を図る。

課題に
向き合い、
学力向上！



教科	小学校6学年		中学校3学年	
	墨田区	全国	墨田区	全国
国語	70.0%	64.7%	66.0%	64.6%
算数・数学	75.0%	70.2%	58.0%	57.2%

区内の児童・生徒の学力が着実に伸びています！

参考：令和3年度全国学力・学習状況調査における区平均正答率と全国（公立）平均正答率

校内スモールステップルームの 設置拡充

主な
SDGs目標



1 目的

不登校の未然防止や早期対応を目的に、中学校に校内スモールステップルーム(以下、「校内SSルーム」という)及び学習支援指導員を配置し、生徒一人ひとりに応じた支援を充実させ、段階的な教室復帰を目指す。

2 主な事業内容

校内SSルームの拡充[8,015千円](拡充)

現在の2校を4校に拡充

○支援対象

- ・ 不登校の初期段階にある生徒
- ・ 中・長期化した不登校から教室復帰を目指す段階にある生徒

○支援方法

- ・ 配置した学校支援指導員が、教員の指示の下で、生徒の学習を支援したり、悩みの相談相手や話し相手になったりするなど、個々の状況に応じた支援を行う。

予算額(拡充)
8,015千円

問合せ
教育委員会事務局
指導室長
加藤 康弘 内線5140



教室

教室での教育活動



教室
復帰

未然防止
早期対応

友達との関係…
勉強のこと…

校内SSルーム

教室復帰に向けた支援
(個々の状況に応じた支援)



段階的な
復帰

中・長期化へ
の支援

公的な支援機関や民間のフリースクール等



ステップ学級 サポート学級
児童館 フリースクール など

中・長期化不登校への支援

学校の改築を進めていきます 学校改築等事業(二葉小学校)

主な
SDGs目標



1 目的

小中学校の「墨田区学校施設長寿命化計画」を踏まえ、地域の児童数の増加、小学校の35人学級編成に対応した改修が必要であるため、二葉小学校の屋内運動場棟の増築及び既設校舎の改修を行う。

2 主な事業内容

二葉小学校増築事業【66,484千円】(新規)

令和6年度に二葉小学校の既設屋内運動場の解体及び屋内運動場棟増築、既設校舎の改修を実施するため、令和4年度に解体設計並びに基本設計を実施する。

【整備スケジュール(予定)】

令和4年度	解体設計・基本設計・現況測量 地盤調査・土壌汚染調査
令和5年度	解体工事・実施設計
令和6年度	増築工事 既存校舎改修工事
令和7年度	増築工事 既存校舎改修工事
令和8年度	体育館棟供用開始

予算額(新規)

66,484千円

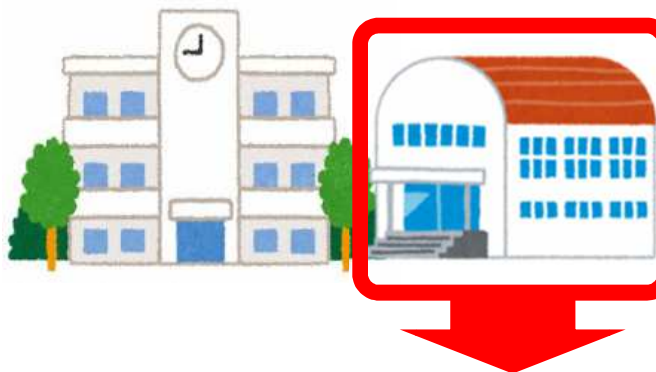
問合せ

庶務課長事務取扱
教育委員会事務局参事
宮本 知幸 内線5102

地域に開かれた 魅力ある学校環境をつくります

■ 二葉小学校の増築

平屋建ての屋内運動場を3階建てに増築して諸教室、学童クラブ室、多目的室等を設置します。



バリアフリーにも対応してエレベーターを設置。体育館棟と既設校舎を連絡通路で結びます。

1階 学童クラブ 多目的室



地域に貸し出す予定の多目的室は、防音対策・Wi-Fi対応 等幅広く対応予定

2階 諸教室



イメージ

3階 屋内運動場



より安全な街をめざして 密集市街地のまちづくり

予算額(継続)
333,486千円

問合せ
防災まちづくり課長
椎名 康明 内線3971

1 目的

区北部地域は、老朽木造建築物が密集しており、従来から、不燃建築物への建替促進、避難路の拡幅等を推進してきた。特に、京島周辺地区と鐘ヶ淵周辺地区は、東京都が実施する木密地域不燃化プロジェクトの不燃化特区に指定されており、一層の安全性向上を図っている。

令和4年度は、引き続き、道路の整備や不燃建築物への建替え、共同化等を促進していく。

2 主な事業内容(継続)

(1)京島地区・北部中央地区まちづくり事業(住宅市街地総合整備事業) 【63,342千円】

既に着手している優先整備路線の整備を推進するとともに、令和3年度に行った京島まちづくり計画(大枠)の検証結果に基づき選定した次に整備すべき優先整備路線について、周辺住民への周知を行う。

- ア 京島地区まちづくり事業 [63,242千円]
- イ 北部中央地区まちづくり事業 [100千円]

(2)鐘ヶ淵周辺地区防災都市づくり推進事業 【105,142千円】

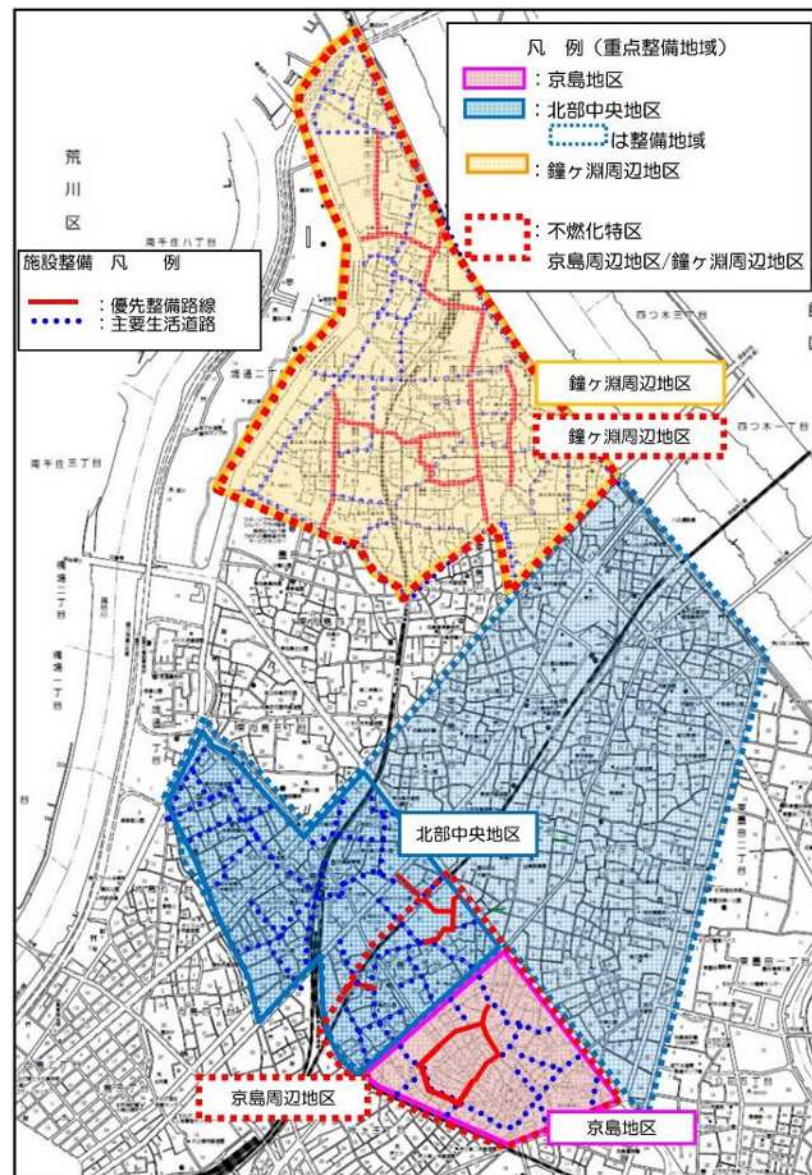
鐘ヶ淵駅付近の鉄道連続立体交差化の実現に向け、優先整備路線の整備を推進する。

- ア 鐘ヶ淵周辺地区まちづくり事業(住宅市街地総合整備事業) [83,042千円]
- イ 鐘ヶ淵駅周辺地区のまちづくり [22,100千円]

(3)木密地域不燃化プロジェクトの推進(不燃化特区) 【165,002千円】

都の助成制度を活用し、不燃建築物への建替えを促進する。
また、現地事務所(まちづくりの駅)において、まちづくりコンシェルジュによる建替えの相談、建替えプランの提案等を行う。

主な
SDGs目標



燃えない壊れない、災害に強いまちづくり！ 不燃化・耐震化の促進

主な
SDGs目標



1 目的

災害から区民の生命と財産を守ることのできる燃えない・壊れないまちを実現するため、建替・改修費用等の一部を助成することにより、建築物の不燃化・耐震化を促進する。

2 主な事業内容(継続)

(1) 不燃化促進助成事業【128,056千円】

○ 基本助成費 1棟 2,100千円、加算助成費等

(2) 主要生活道路沿道不燃化助成事業【8,900千円】

○ 基本助成費 1棟 1,500千円、加算助成費等

(3) 防火・耐震化改修助成事業【3,000千円】

○ 基本助成費 1棟 1,000千円、加算助成費等

(4) 民間建築物耐震診断助成事業【8,812千円】

○ 非木造建築物耐震診断助成費、無料耐震相談経費等

(5) 木造住宅耐震改修促進助成事業【92,007千円】

○ 耐震診断・耐震改修・除却助成費等

(6) 分譲マンション・緊急輸送道路沿道建築物等 耐震化促進事業【14,084千円】

○ 耐震診断・耐震改修助成費、耐震化アドバイザー経費等

(7) 特定緊急輸送道路沿道建築物 耐震化促進事業【19,497千円】

○ 既存建築物除却・耐震改修助成費等

予算額(継続)
274,356千円

問合せ
防災まちづくり課長
椎名 康明 内線3971

○木造住宅耐震改修事例写真



外壁筋交い補強



内壁筋交い補強



とうきょうスカイツリー駅付近 東武伊勢崎線高架化等の推進

主な
SDGs目標



1 目的

伊勢崎線第2号踏切(桜橋通り)を中心に、約0.9kmの鉄道を高架化することで、踏切による交通事故の危険性や渋滞を解消し、安全で円滑な交通機能を確保するとともに、南北に分断されているまちの一体化を図る。

また、とうきょうスカイツリー駅北側の市街地については、鉄道の高架化や道路等の都市基盤整備を契機に、広域総合拠点にふさわしい魅力あるまちの形成を図る。

2 主な事業内容

(1) 東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)立体化事業 【2,332,385千円】(継続)

令和2年度から進めてきた高架橋工事や新駅工事を着実に遂行し、令和4年度中の上り線(浅草方面)高架切替を目指す。高架切替前にはルールウォーク等を実施し、事業の気運醸成を図るとともに、下り線(曳舟方面)高架橋工事に着手する。

(2) とうきょうスカイツリー駅周辺整備事業 【15,246千円】(継続)

駅北側の市街地について、まちづくりのルール(地区計画等)の早期都市計画決定を目指し、地域住民とともに検討を進める。

予算額(継続)
2,347,631千円

立体化推進課(1)2,332,385千円
拠点整備課(2)15,246千円

問合せ

立体化推進課長
戸梶 大 内線3991

拠点整備課長
和田 聖子 内線3981

■ 東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)立体化事業



桜橋通り付近の高架化イメージ



とうきょうスカイツリー駅新駅舎のイメージ

■ とうきょうスカイツリー駅周辺整備事業



昨年のまちづくり検討の様子



(仮称)押上駅北口交通広場等のイメージ

安全・安心な賑わいのある
駅周辺まちづくりを進めます！

曳舟駅周辺整備の推進

主な
SDGs目標



1 目的

市街地再開発事業等による面整備により、土地の高度利用を促進し、区北部地域の広域拠点に相応しい、商業・業務・住宅など多様な都市機能の集積を図るとともに、道路等の都市基盤の整備を進める。

2 主な事業内容

(1) 京成曳舟駅周辺道路整備事業【210,585千円】(継続)

京成曳舟駅前交通広場の令和5年度の供用開始を目指し整備を行う。引き続き、区画街路第6号線及び第7号線の道路整備に係る関係機関協議、調整等を進める。

・墨田区画街路第6号線(全区間、交通広場を含む)

延長:135m、幅員:12m、交通広場面積:2,500㎡

・墨田区画街路第7号線(一部区間)

延長:70m、幅員12m

(2) 曳舟駅周辺地区整備事業【5,557千円】(継続)

東武曳舟駅前地区市街地再開発準備組織において進めるまちづくり計画の実現に向けて、都市計画案や道路等の基盤計画の検討を進め、早期事業化を目指す。

予算額(継続)
216,142千円

問合せ
拠点整備課長
和田 聖子 内線3981

【交通広場予定地(現況写真)】



【交通広場整備イメージパース】



防災対策のステージアップ！ 地域防災力の強化

予算額(新規・拡充)
8,128千円

問合せ
防災課長
山中 淳一 内線3551

主な
SDGs目標



1 目的

墨田区を含む周辺5区で深刻な被害が想定される水害に対する対策を強化し、要配慮者支援体制の拡充及び改定した水害ハザードマップを全戸配布することで、避難の意識啓発を図る。

2 主な事業内容

(1) 要配慮者支援体制の拡充【676千円】(拡充)

要配慮者個別支援プランモデル事業の対象エリア内の未着手部分へ事業展開し、同様の取組を区内全地域へ普及させるための作成支援マニュアルをまとめる。

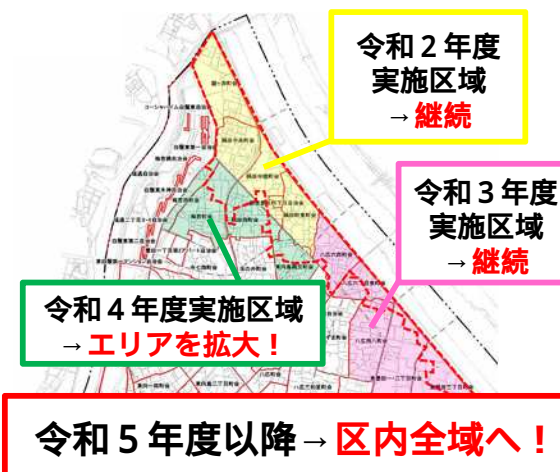
また、福祉専門職を活用した個別避難計画作成について、検討を開始する。

(2) 水害ハザードマップの全戸配布【7,452千円】(新規)

令和3年度に改定した墨田区水害ハザードマップを出水期までに全戸配布する。

今回、江東5区広域避難の考え方や高潮・雨水出水の最新の想定データを盛り込む他、Web上で「マイハザードマップ」の作成、印刷が可能なコンテンツを導入する。

要配慮者支援体制の拡充 (要配慮者個別支援プランの作成)



モデル事業で培ったノウハウや事例をマニュアルにまとめ、早期の立退き避難が必要な区域に限らず、区内全域へ取り組みを普及する。

水害ハザードマップの全戸配布

(表紙イメージ)



最新の
データを
反映

自宅等を中心としたWeb版
マイハザードマップの導入

- 平成30年 前回作成
- 西日本豪雨
- 江東5区広域避難計画策定
- 令和元年東日本台風(台風第19号)
- 高潮・雨水出水想定公表
- 災害対策基本法改正

住み慣れた地域で安心して暮らせるために 精神障害者自立生活体験事業

主な
SDGs目標



1 目的

精神障害者の生活の場を「入院医療中心から地域生活へ」という理念のもと、退院支援の促進を行う。また、近年8050問題や親亡き後も安心して暮らし続けていくための体制整備を推進する。

2 主な事業内容

精神障害者自立生活体験事業【5,504千円】(新規)

- (1) 親亡き後などいざという時を見据えて、入院中から見学や体験宿泊を実施する。
→ 定期的に一人暮らしの体験ができる。
- (2) 精神障害者の方が安心して生活を送れるように体験宿泊の場や機会を確保する。
→ 精神障害者の方が住み慣れた地域で安心して暮らせる。

予算額 (新規)
5,504千円

問合せ
保健予防課長
武田 知子 内線3511

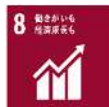
墨田区地域生活支援拠点等の面的整備



今年もお得にお買い物！

キャッシュレス決済促進・ ポイント還元事業

主な
SDGs目標



1 目的

墨田区商店街連合会と連携し、長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けている区内商業者を力強く支援するとともに、新しい生活様式の一つであるキャッシュレス決済の推進を図る。

2 主な事業内容

キャッシュレス決済促進・ポイント還元事業

【395,000千円】(新規)

区内の対象店舗でキャッシュレス決済を利用した場合、決済金額に応じたポイントが後日還元されるキャンペーンを実施する。第3弾となる今回は、複数の決済事業者と連携したキャンペーンを予定している。

【ここがポイント！】

過去2回(令和2年10月、令和3年9月)の実施を踏まえた課題への取り組み

- ・緊急事態宣言により、キャンペーンに参加できなかった飲食店を中心とした区内商業者の参加を目指す。
- ・高齢者を中心にスマートフォンを十分に扱えない方にも、お買い物を楽しんでいただけるよう交通系電子マネー(Suica・PASMO)の導入を目指す。

予算額(新規)
395,000千円

問合せ
産業振興課長
瀬戸 正徳 内線5431

キャッシュレス決済で 新しい生活様式へ！



×



対象店舗で飲食やお買い物！



キャッシュレス決済で支払い！



決済額に応じたポイントを還元！



「サブス区」で子どもから大人まで起業を支援！ スタートアップ連携促進事業

主な
SDGs目標



1 目的

新たな経済の担い手となりうるスタートアップ企業等の集積を加速し、スタートアップのまち「すみだ」のイメージ定着を図るとともに、変化し続ける社会状況に柔軟に対応できる人材を生み出すことにより、将来的な区内経済の飛躍を図る。

2 主な事業内容

ものづくりスタートアップの連携促進事業

【16,500千円】(継続)

(1) サブス区小学生スタートアッププロジェクト

～小学生だって社長になれる。きみの夢を

事業に変えて、会社づくりにチャレンジ！～

- ・小学生が区内の町工場や経営者、iU情報経営イノベーション専門職大学の大学生等とチームを形成し、「起業」を通じて「夢」の実現に挑戦するプロジェクト

(2) 「サブス区」によるスタートアップ誘致

- ・スタートアップ情報Webサイト「サブス区」による、区内にスタートアップを誘引するプロモーションを実施。サブス区とは…墨田区が提供するスタートアップのための行政サービスを集約し、サブスクリプションサービスに見立てたウェブサイトで、新しいチャレンジを始める方を応援する取組。

予算額(継続)
16,500千円

問合せ
経営支援課長
塩澤 満 内線5421

【2021年度サブス区の事例】

小学生スタートアッププロジェクト



- ・オルゴールが大好きな小学生が、オルゴールの魅力を社会に伝えるプロジェクトを立ち上げ。
- ・区内のオルゴール製造や家具製造の事業者の協力を得て、オリジナルオルゴールを試作・テストマーケティングを実施。



試作したオリジナルオルゴール



テストマーケティングの様子

スタートアップ誘致支援事例

合同会社SlowFast

Kutoon



2021年5月6日設立。2021年9月に子供靴のサブスクリプションサービス「Kutoon」をリリース。「子供靴を『買う』から『借りる』へ」という新しいライフスタイルを提案。靴のリユースを促し、靴の廃棄処分を減らすことで、「親よし・子よし・社会よし」の三方よしの実現を目指す。

採用・人材定着をお手伝い！

区内中小企業の人材確保支援

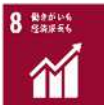
予算額(新規・拡充)

14,998千円

問合せ

経営支援課長

塩澤 満 内線5421

主な
SDGs目標

1 目的

区内中小企業の人材確保や働きやすい職場環境の整備を支援することで、経営の安定化を図り、もって区の持続的な産業の発展に寄与する。

2 主な事業内容

(1) 人材確保プロモーション支援事業【8,998千円】(新規)

・区内中小企業の魅力発信の機会とする合同企業説明会を開催する。

・合同企業説明会の参加企業に対し、求職者に自社の魅力が伝わる就職説明会資料やハローワークに登録する求人票の作成を専門家がアドバイス・支援する。

(2) 人材確保・定着支援事業【6,000千円】(拡充)

区内中小企業が、就業規則を作成または見直しをしたうえで、働きやすい職場環境の整備を行う場合、経費の一部を補助する。

ア 就業規則の作成・見直し等

補助率：2分の1 上限：10万円

イ 職場の環境整備

補助率：2分の1 上限：100万円



～あなたに届く、あしたにつなぐ。
アートプロジェクト“すみゆめ”～

「隅田川 森羅万象 墨に夢」 (すみゆめ)



主な
SDGs 目標



1 目的

「北斎」「隅田川」に代表される地域資源を活かして、すみだらしいアートプロジェクトを展開し、東東京の文化芸術創造活動が集中するエリアとして、将来的に“すみだ”発『地域芸術祭』の開催を目指す。

2 主な事業内容

「隅田川 森羅万象 墨に夢」【25,000千円】(継続)

(1) 「北斎・隅田川」を主なテーマとする多彩な企画

墨田区生誕の「北斎」や江戸文化を育んできた「隅田川」を主なテーマに、美術や音楽、演劇、ダンスなどの企画を募るとともに、相撲やものづくりなど“すみだ”の地域資源等を活かす企画を9月～12月にかけて開催。

(2) 「隅田公園」を舞台に新たな文化芸術を創造するプロジェクトを集中展開、賑わいを創出！

10月には「隅田公園」を中心に、隅田川や北十間川の水辺などを活用した参加型のアートプロジェクトを展開。新たな文化芸術活動を創造する場として活用。

(3) コロナ禍を想定しオンラインでも楽しめる取組

リアルな鑑賞・体験の場とともに、オンラインを併用して、視聴参加できる双方向の企画を実施。

すみゆめWebにコンテンツを蓄積し、配信していく。

予算額(継続)
25,000千円

問合せ
文化芸術振興課長
岩本 健一郎 内線5451

北斎・隅田川で彩る



多彩な企画を公募



参加型の企画で賑わい創出



隅田公園で集中展開



オンラインを活用

リアル開催とオンライン配信を併用



～ 北斎 × 宮本亞門 × 向島花街 ～

舞台『画狂人 北斎』曳舟公演 と『向島花街の新生』

主な
SDGs目標



1 目的

平成29年1月に「すみだ北斎美術館」で初めてお披露目された宮本亞門氏演出の朗読劇『画狂人北斎』。本朗読劇は、平成29年7月に「大英博物館」でロンドン公演が行われるなど、国内外で北斎ファンを魅了してきた。

そして、平成30年1月には、本朗読劇を磨き上げ、新国立劇場という大舞台での公演を実現させた。

令和4年度、再び宮本氏とタッグを組み、舞台『画狂人 北斎』の公演を、リニューアルした「曳舟文化センター」で行う。これにより、「北斎生誕の地すみだ」を広くPRするとともに、北斎が描いた時代が今も息づく「向島花街」と連携することで、本公演を通じた花街の魅力の発信、コロナ禍で落ち込んだ需要の喚起、「向島花街」の振興へとつなげる。

2 主な事業内容

(1) 舞台『画狂人 北斎』曳舟公演【2,000千円】(新規)

公演日・会場：令和5年2月上旬・曳舟文化センター

② 演出：宮本亞門氏

(2) 向島花街の新生事業【10,000千円】(継続)

向嶋墨堤組合や墨田区観光協会が行う取組を支援

舞台『画狂人 北斎』の開催に合わせ、向島見番で記者発表を開催

② 新規顧客の獲得と次世代を担う芸妓の育成を目的とした「料亭体験会」を開催

③ 向島地域の風情の創出

予算額(新規・継続)
12,000千円

問合せ
文化芸術振興課長
岩本 健一郎 内線5451
観光課長
楠 幸輔 内線5481

すみだ北斎美術館で誕生した朗読劇が、
‘舞台’として‘すみだ’に帰還

HOKUSAI × MIYAMOTO AMON



演出

宮本亞門

向島花街新生事業

舞台『画狂人北斎』

記者発表を開催

北斎が描いた時代が
今も息づく向島と連動

次世代を担う芸妓育成
‘料亭体験会’

風情の創出
高張提灯や行灯の設置



3つの「つ」で目指す「共創ものづくり」ブランド！ 新すみだ地域ブランド戦略の推進

主な
SDGs目標



1 目的

区内に集積する多種多様な産業の事業者が関わり合う仕組みを構築し、新商品の開発や新規事業の展開等、「共創」による活動を「すみだモダン」として区内外に訴求する。これにより、区内で「新規事業を興す、事業継続する者」を増やし、事業者ネットワークの発展と区内産業の活性化を図り、ものづくりのまちとしての本区の価値向上を推進する。

2 主な事業内容(拡充)

(1) すみだモダンパートナーシップ連携(つながる) [4,500千円]

すみだモダンの理念に共感する事業者(パートナー)同士のコミュニティを運営するとともに、連携による新たな取組を支援するため、事業推進に係るイニシャルコストを補助する。

(2) すみだモダンフラッグシップ商品開発(つくる) [11,100千円]

すみだのものづくりの力を強く訴求するため、クリエイティブディレクター統括の下、区内事業者とデザイナーとのコラボによる新商品開発を実施する。

(3) すみだモダンブランドコミュニケーション展開(つたえる) [31,500千円]

新戦略の公式ウェブサイトをフルリニューアルするとともに、ECサイトの拡充、大型商業施設でのポップアップの実施等、多くのメディアによるプロモーションを展開する。

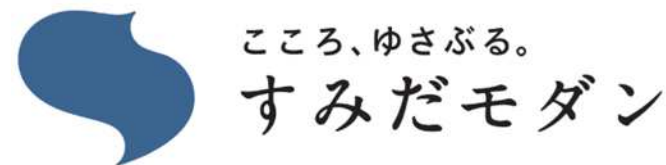
(4) 産業支援施設(SHOP&WORKSHOP すみずみ)の運営 [39,397千円]

東京ミズマチの産業支援施設にて、すみだモダン認証商品の物販のほか、産業・地域交流等をテーマとした企画展を実施する。



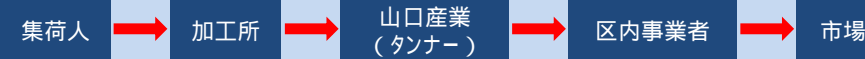
予算額(拡充)
86,497千円

問合せ
産業振興課長
瀬戸 正徳 内線5431



具体例

MATAGIプロジェクト・・・区内企業の山口産業株式会社が主体となり、地方の害獣対策として、食肉加工所・獣皮集荷人・タンナー・メーカー・小売商等によるサプライチェーンを構築し、付加価値の高い革製品の供給やジビエ食の理解浸透を図り、地場・皮革産業の振興をめざすもの。



つくる



デザイナーには、山田佳一朗氏、大友学氏、セメントプロデュースデザイン、リコー、TOTOを招聘し、第1期の商品開発が現在進行中。4年度からは、新たなデザイナーを招聘し、第2期を開始予定！

つたえる



ブランド戦略公式ウェブサイトをフルリニューアル！



ECサイト拡充！



ポップアップの実施！

～だれでも触れて鑑賞できる文化財～ 大学と連携！3D技術を活用した 文化財のユニバーサルデザイン化！

予算額(継続)
2,000千円

問合せ
地域教育支援課長
堀 啓一 内線5151

主な
SDGs目標



1 目的

千葉大学と連携し、障害の有無などにかかわらず多くの人に有効な文化財の鑑賞・観察の方法を研究開発する。

また、多様な年齢層の相互学習に有効なコンテンツの試験開発を行う。

2 主な事業内容

文化財のユニバーサルデザイン化[2,000千円](継続)

・文化財のユニバーサルデザイン化の研究

従来の「見る」鑑賞方法のほかに視覚障害を持つ方や子どもたち等を念頭に、触れて楽しめる展示方法を研究する。

・デジタルミュージアム型文化財公開の研究

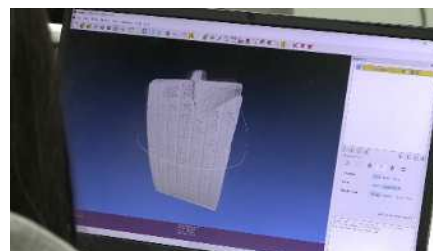
埋蔵文化財等を3Dデジタル計測し、いつでもだれでもWeb上で鑑賞することができる方法を研究する。

・文化財の3D記録に関する研究

石造物が破損、滅失した際に、高精度で復元することができる水準の3D記録を研究、開発するとともに、3Dプリンタ等を使ったレプリカの作成を行う。



3Dデータ取得作業



3Dデータの抽出



3Dプリンターによるレプリカ作成イメージ

～歩いて楽しい向島散策～ 向島まち歩き観光資源の再生

主な
SDGs目標



1 目的

向島地域には、花街など数々の観光スポットがあるが、まち歩き観光資源として情報や設備について更新が必要である。そのため、まち歩きの誘客へ向けたリニューアルを行う。

2 主な事業内容

- (1) 向島歴史案内板のリニューアル【4,000千円】(新規)
 - ・千葉大学の学生や地域の方と連携し、デジタルツールと融合した多言語対応の観光案内板に更新する。
- (2) すみだ郷土文化資料館の大規模修繕【277,306千円】(新規)

ア 大規模修繕

- ・建築(外壁改修・防水加工)
- ・電気設備(照明のLED化、防犯システム、火災報知設備等)の更新
- ・空調、機械設備(空調機器及び空調制御装置等)の更新

イ 誘客のための工夫

- ・外壁に浮世絵などの装飾を施す。
- ・1階に大型モニターを設置し、展示情報等を紹介するほか、郷土史の記録映像等を鑑賞できるようにする。

予算額(新規)

281,306千円

観光課(1)4,000千円

地域教育支援課(2)277,306千円

問合せ

観光課長

楠 幸輔 内線5481

地域教育支援課長

堀 啓一 内線5151



現在の向島歴史案内板



令和3年すみだ郷土文化資料館企画展の様子



現在のすみだ郷土文化資料館

魅力ある日本庭園のリニューアル 隅田公園再整備(第2期)事業

主な
SDGs目標



1 目的

隅田公園の南側整備で生まれた賑わいを公園北側に広げることで、回遊性の創出とさらなる公園の価値の向上を目指す。

第2期整備範囲においては、日本庭園などの歴史的・文化的価値を最大限に発揮しつつ、公園の利便性や魅力が向上できるよう整備する。

2 主な事業内容

(1)再整備(第2期)実施設計【19,000千円】(新規)

令和3年度の基本設計を踏まえた実施設計を行う。

(2)ひょうたん池循環設備等改修工事【123,000千円】(新規)

ひょうたん池のかいぼりを行うとともに、池の循環設備等を改修する。

(3)民間活力導入における検討補助業務等

【4,685千円】(継続)

令和3年度に検討した民間活力導入について、事業者選定に向けた準備を行う。

予算額(新規・継続)
146,685千円

問合せ
都市整備課長事務取扱
都市整備部参事
天海 晴彦 内線3911



～ GO TO RIVER 川を歩こう～
江東内部河川整備事業

主な
SDGs目標



1 目的

墨田区内を縦横に流れる江東内部河川の護岸(低水路)を遊歩道として整備することにより、うるおいとやすらぎのある魅力的な水辺空間を創出する。

江東内部河川とは、荒川と隅田川に挟まれた江東三角地帯を流れる河川(計11河川)であり、区内には旧中川・大横川・北十間川・横十間川・竪川・旧綾瀬川の6河川が流れている。

2 主な事業内容

(1) 横十間川修景施設整備工事【27,000千円】(継続)

横十間川(天神橋～神明橋間：延長約580m)の低水路護岸に照明灯を設置する。

(2) 北十間川テラス連続化工事実施設計

【10,000千円】(新規)

北十間川の西十間橋下のテラスを連続化させるための工事の実施設計を行う。

予算額(新規・継続)

37,000千円

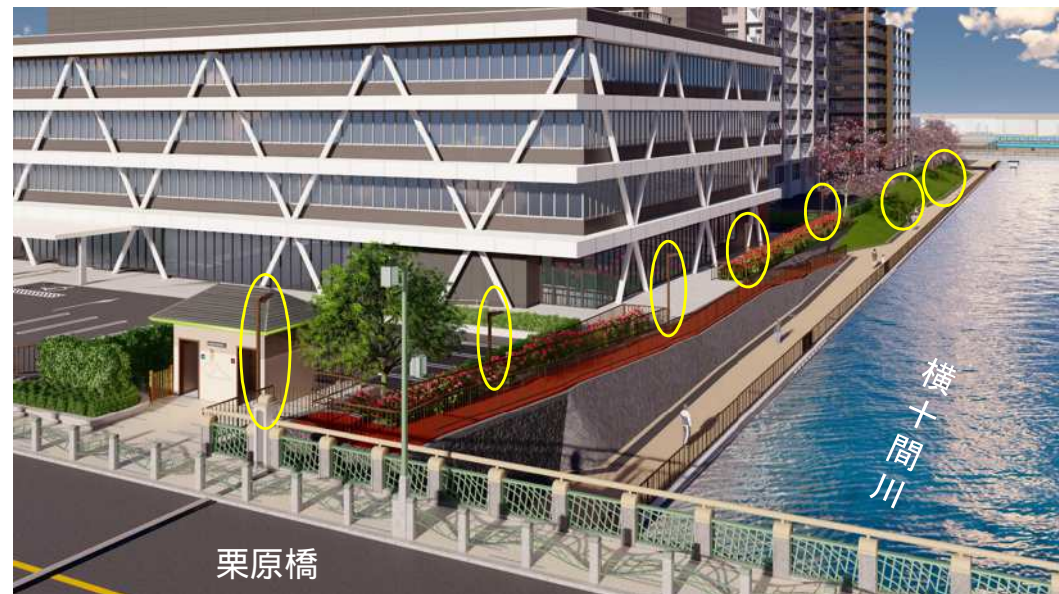
問合せ

都市整備課長事務取扱

都市整備部参事

天海 晴彦 内線3911

横十間川(天神橋～神明橋)の 照明灯整備



照明灯
イメージ

地域力を活かした シティプロモーションの推進！

主な
SDGs目標



1 目的

墨田区のシティプロモーションは、すみだの地域力が一層高められるように、区民の地域に対する愛着と誇り(シビックプライド)を高めていくことを目的に実施する。

区民・事業者・区などの主体が、互いにつながりを深めて、力を合わせ、ともに支えあう地域力を活かしたシティプロモーションの推進によって、基本計画に掲げる「すみだの夢」実現を加速させていく。

2 主な事業内容

シティプロモーションの推進【24,788千円】(拡充)

(1) まちの魅力の伝え合いを創出

- ・すみだの地域力を活かしたプロモーションの推進
- ・すみだ子どもPR大使による区の魅力発信
- ・(仮称)すみだプロモーションゼミ
- ・写真でつながる墨田区フォトコンテスト
- ・シティプロモーションに関するモニタリング調査
- ・シティプロモーションの普及啓発(新ロゴマーク活用等)

(2) 職員の広報広聴マインド向上、スタッフプライドの醸成

- ・プロモーションサポート事業
- ・クリエイティブを磨く職場研修
(SNS発信力、チラシ作成ほか)

予算額(拡充)
24,788千円

問合せ
広報広聴担当課長
南部 友孝 内線3611

地域の多様な主体とともに 魅力を発信してシビックプライドを醸成

映像による区の魅力を発信！

すみだの地域力を活かした
プロモーションの推進



子どもの視点・感性で区の魅力を発信！

すみだ子どもPR大使



地域団体の情報発信をサポート

(仮称)すみだプロモーションゼミ



課題を整理して
多様な主体の
広報力を強化

写真一枚で伝える！！すみだの魅力

写真でつながる墨田区フォトコンテスト



すみだの近況把握
モニタリング調査



新ロゴマーク活用等
普及啓発活動



職員の広報広聴マインド向上

プロモーション
サポート

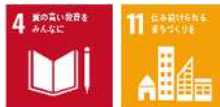
庁内各課とク
リエイターと連携して
広報面から課題に
アプローチ

クリエイティブを
磨く職場研修



～ 鬼才 “葛飾北斎” が描く “鬼” が現世に～
**すみだ北斎美術館 令和4年度 重点企画
 特別展『北斎 百鬼見参』**

主な
SDGs目標



1 目的

「すみだ北斎美術館」では、令和4年度の重点企画として“鬼”をテーマにした特別展『北斎 百鬼見参』を開催する。“鬼”を結集させた迫力ある展示を通じて、区内外より、多くの来館者を集め、「北斎のまちすみだ」のPRを図る。

2 主な事業内容

重点企画 特別展『北斎 百鬼見参』

[5,000千円] (拡充)

(1) 開催期間

令和4年6月21日(火)～8月28日(日)

前期:6月21日(火)～7月24日(日)

後期:7月26日(火)～8月28日(日)

(2) 展示内容

“北斎”の人気シリーズ「百物語」や版本から“鬼”に関連する作品を紹介し、鬼才・北斎がどのように鬼を捉え、表現したかに迫る。また、「すみだ北斎美術館」初公開となる貴重な“鬼”を描いた北斎の肉筆画も展示予定。

予算額(拡充)
5,000千円

問合せ
文化芸術振興課長
岩本 健一郎 内線5451



佐渡裕氏がすみだ音楽大使に就任！ すみだトリフォニーホール 25周年記念事業等の実施

主な
SDGs目標



1 目的

フランチャイズ提携を結んでいる新日本フィルハーモニー交響楽団と連携し、開館から25年目を迎えるすみだトリフォニーホールの記念事業を実施するとともに、同楽団の音楽監督／ミュージック・アドバイザーに就任する佐渡裕氏の協力により、「音楽都市すみだ」の新たなステージのスタートを切る。

2 主な事業内容

(1) すみだトリフォニーホール25周年記念事業等

ア 開館25周年記念コンサート【7,000千円】(新規)

新日本フィルの演奏(佐渡裕氏指揮)による、区民参加型の新しいコンサート

イ パイプオルガン体験【1,000千円】(拡充)

国内最大級のイエームリッヒ社製パイプオルガンを区民が演奏体験する《一日体験コース、短期集中レッスンコース》

(2) 新日本フィルと連携した音楽都市づくりの推進

ア 中学校吹奏楽部への音楽指導【2,000千円】(拡充)

佐渡裕氏による演奏指導・合同演奏会の開催

イ 新たなアウトリーチ～音楽療法、音楽教諭対象のワークショップ～【1,500千円】(新規)

音楽の力を用いて心身機能の維持・改善を図る。

予算額(新規・拡充)
11,500千円

問合せ
文化芸術振興課長
岩本 健一郎 内線5451



～ 25周年を迎えるすみだトリフォニーホール～

【佐渡裕氏】

新日本フィルの創設者・小澤征爾氏に師事。世界屈指の楽団で客演を重ねてきた。新日本フィルとも数多くの共演を行っており、令和4年4月から同楽団のミュージック・アドバイザーに、令和5年4月に第5代音楽監督に就任。



～ 佐渡裕氏～

“大学の知”を地域の力に！ 大学のあるまちづくり

主な
SDGs目標



1 目的

千葉大学・情報経営イノベーション専門職大学(iU)と連携し、教育環境の向上や、産業振興などにつなげていく。

2 主な事業内容

(1) 大学との連携事業【28,500千円】(拡充)

【環境】緑化推進・雨水利用・環境学習

【教育】リテラシー育成に向けた連携・

文化財のユニバーサルデザイン研究

【健康】区民健康度評価研究

【産業】ものづくりのまちの持続発展

【観光】観光案内板等のリニューアル

【ICT】プログラミング教育・動画制作、iUの教育・研究・
社会連携施設「すみだメディアラボ」との連携

(2) キャンパスコモン整備工事【150,000千円】(拡充)

両大学の間に位置する広場を、隣接するあずま百樹園と一体的に整備するため、地域と大学の交流を生む「キャンパスコモン」として先行して整備する。

(3) UDCすみだ事業推進補助【9,000千円】(拡充)

区・大学・関係団体で構成する公民学連携組織「アーバンデザインセンターすみだ(UDCすみだ)」が、地域課題の解決に向けた様々な取り組みを行う。

予算額(拡充)
187,500千円

問合せ
行政経営担当課長事務取扱
企画経営室参事
郡司 剛英 内線3711
都市整備課長事務取扱
都市整備部参事
天海 晴彦 内線3911



千葉大学 墨田サテライトキャンパス



iU 情報経営イノベーション専門職大学



UDC SUMIDA
アーバンデザインセンターすみだ
URBAN DESIGN CENTER SUMIDA

公民学による10の目標と100のプロジェクト「すみだ百計」を掲げ、UDCすみだが進めていく。



すみだメディアラボ(令和4年3月開設)

iUの教育・研究・社会連携施設。最先端のICT研究や、オンライン教育コンテンツの開発・発信を行う。



キャンパスコモン・あずま百樹園整備事業(イメージパース)